

「平成27年度第1回 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会」議事録

○日 時 平成27年6月12日（金）13時30分から

○場 所 豊橋市上下水道局 大会議室

○出席者 別紙「出席者名簿」参照

○傍聴人 1名

○事務局 6名

〔会議資料〕

◆次第

◆出席者名簿

【資料1】平成26年度事業経過報告及び収入支出決算（案）について

【資料2】豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画

【資料3】「夏休み小学生50円バス」に伴う運賃の変更について

【資料4】「ええじゃないか豊橋1日フリーきっぷ（仮称）」の発行（案）について

【資料4-1】公共交通利用促進イベントの実施内容について

【資料5】「地域生活」バス・タクシー運行事業（東部地区）の運行ダイヤの変更について

【資料5-1】東山バス運営協議会の取組について

【資料6】豊橋市地域公共交通活性化方策（豊橋市地域公共交通総合連携計画）の進捗について

【資料7】豊橋市「地域生活」バス・タクシー実施要綱の改正について

議 事

1. 開会

- ・ 本日の議事録署名者として2名の委員が指名された。
- ・ 今回の議事の内容あるいは進行過程の中で、非公開事項に関することがあるかどうかの確認がされた。(非公開事項に関する事項はなし)

2. 協議事項

(1) 平成26年度事業経過報告及び収入支出決算(案)について

- ・ 事務局より、平成26年度事業経過報告及び収入支出決算(案)について、資料1に基づき説明が行われた。

(質疑等)

- ・ なし

- ・ 議長から協議事項1について諮ったところ、全会一致で承認された。

(2) 平成28年度 豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画(案)の策定について

- ・ 事務局より、平成28年度 豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画(案)の策定について、資料2に基づき説明が行われた。

(質疑等)

- ・ なし

- ・ 議長から協議事項2について諮ったところ、全会一致で承認された。

(3) 「夏休み小学生50円バス」に伴う運賃の変更について

- ・ 事務局より、「夏休み小学生50円バス」に伴う運賃の変更について、資料3に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・ 東三河の地域内に居住していない人も利用できるのか。

(事務局)

- ・利用者の居住地は、特に制限はないため小学生であれば適用される。
(委員)
- ・利用者の中で小学生と中学生を分けることはできるのか。
(事務局)
- ・路線バスの通常の運賃であっても、こども運賃の適用を識別している。そのため普段より確認している内容であるので同様の対応により事業者より確認するものと考えている。

- ・議長から協議事項2について諮ったところ、全会一致で承認された。

(4)「ええじゃないか豊橋1日フリーきっぷ(仮称)」の発行(案)について
・事務局より、「ええじゃないか豊橋1日フリーきっぷ(仮称)」の発行(案)について、資料4に基づき説明が行われた。

- (質疑等)
(委員)
- ・フリーきっぷの購入はどこでできるのか。
(事務局)
 - ・フリーきっぷの販売場所については、豊橋鉄道(株)と豊鉄バス(株)と調整中であるが、主要駅や豊橋駅バスターミナルやそれ以外の場所での販売を検討していただいている。
(委員)
 - ・自由研究の実施内容について、子どもたちはワークシートなどについても説明を受けないと分からないのではないかと。また、実施する豊橋鉄道(株)や豊鉄バス(株)は、どのように対応してよいか迷うのではないかと。
(事務局)
 - ・ワークシートは、豊橋鉄道(株)や豊鉄バス(株)と検討を進めている。①は、字で埋めるような簡単にできるものとなることを検討している。②は、旅行パンフレットのようなイメージのものを作成することを検討している。いずれのワークシートもチラシの裏に記載例等を入れて分かりやすく参加しやすいものになりたいと考えている。また、実施内容については豊橋鉄道(株)と豊鉄バス(株)の意見を聞いて検討している。
(委員)
 - ・イベントの名称等をもう少し検討する必要があるのではないかと。現在の名称だと中を読まないとなんをするのか分からない。
(事務局)
 - ・現在の資料の名称は事業名を掲載しているためイベント名称ではない。イベント名称は別に付ける予定をしておき、現在、豊橋鉄道(株)や豊鉄バス(株)と検討している。

(委員)

・名称について「豊橋発見フリーきっぷ」などどうか。小中学生の夏の宿題と重ねることは検討しているのか。

(事務局)

・教育委員会と調整していく予定である。また、名称についても子ども達に分かりやすいものを考えたい。

(委員)

・夏休み小学生 50 円バスと期間がラップしている。その兼ね合いについてどう考えているか。同様の取組は過去に実施した経緯はあるのか。

(事務局)

・1日フリーきっぷについては、平成24年度、25年度に実施した経緯がある。
・夏休み小学生 50 円バスは、広域の取組で、東三河全体で実施するものである。1日フリーきっぷは、域内の取組で大人も対象となる。子どもにどちらか有利になるかを考えて利用することも1つの目的であると考えている。

(委員)

・1日フリーきっぷの販売があまりないとのことになる恐れがあると思ったが、選択の手段とするならよいと思う。

(委員)

・自由研究のイベントについて、1日フリーきっぷの購入は参加要件となるのか。

(事務局)

・自由研究のイベントについては、1日フリーきっぷを使ってほしい旨の記載はするが、参加の要件にはしない方針で検討している。

(委員)

・2年前もフリーきっぷを設定した際に、技科大線を豊橋駅前から技科大前へ行く場合、片道 440 円で往復すると1日フリーきっぷの方が安いので1日フリーきっぷが誰でも使える形であったので技科大のイベントで使われたことがあった。自由研究を全面に出し、絵柄を自由研究をイメージするものとするとか大学のイベント開催日には使用できないようにするなど工夫してほしい。

(事務局)

・1日フリーきっぷの絵柄については、関係する事業者と調整し決めていく。

(委員)

・自由研究は絵を描く内容にすることやノートで自作する形にすることはできないのか。

(事務局)

・募集内容の②自由企画型では、絵を描くこととなっているので同様の趣旨を取り入れている。ノートで自作する方法の提案に対しては、提出していただく用紙は指定する方向で検討している。

(委員)

・このように事業者等から意見があるということは、調整しきれてないということか。

(事務局)

・1日フリーきっぷの効力については事業者とは打合せの中で意見を聞いており調整できていると考えている。絵柄についてはこれから検討していく。

(委員)

・イベント時に使えないようにしてくれという話はということか。

(委員)

・今後の1つの方法としてそういった案があればということで発言をした。事前に内容も聞いているし方向性についても納得しているが、課題として認識をしていただきたいので発言をした。

(委員)

・豊橋駅から技科大前は使えないようにするのか。

(委員)

・使える。2年前に実施した際、技術科学大学でオープンキャンパス等のイベントがあり、その際になぜこれをもっと紹介しないのかと苦情を受けた。1日フリーきっぷの収入はそれぞれの業者に割り振られてしまうため、出すぎると減収が大きくなってしまう。ただ、その部分を踏まえた上で趣旨には納得している。こういった問題があることは委員に知っていてほしい。

(委員)

・この1日フリーきっぷの対象に大人が含まれているが、利用者の想定として小学生の保護者や中学生となると考えているのか。一般的に言う大人を対象としていないということか。

(事務局)

・購入の制限はしない予定である。ただ、利用の中心となるのは小学生とその保護者と考えている。

(委員)

・それなら小学生に同伴する保護者のみ対象とし、中学生は利用できないなど利用に制限をかけるのはどうか。そうすれば、これまで出た課題が解決するのではないか。ただ、それをする事でやりにくくなることが考えられるのか。

(事務局)

・今回の1日フリーきっぷは、公共交通のイベント参加時に活用してもらえればと考えた企画であるが、一般の方の公共交通の利用促進ということも考えている。イベントへの参加者はそれほど多くない考えるので、あくまで1日フリーきっぷは一般の方も対象とした利用促進策として実施していきたい。

(委員)

・1日フリーきっぷの利用が増えるようにということでイベントを実施するものと考えてい

たが、これから内容も詰めていくということか。

(事務局)

・事務局としては、1日フリーきっぷとイベントは別々の事業と考えている。豊鉄バス(株)の発言より一部の路線では減収となる可能性があるとのことであるが、今までの担当者による打合せの中では、この問題を解消することが必要とまでの説明を受けていない。そのため、事務局としては、案のとおり進めていく方針であるが、豊鉄バス(株)として問題はあるか。また、今回の発言の中で、大学で開催するイベント時には使えないようにする旨の話があったが、事務局としては正式な発言と考えていないがどうか。

(委員)

・趣旨は理解しているし、この内容で賛同している。

(委員)

・きっぷの設定についての法令の手続は、交通事業者が中部運輸局に対して実施するものであり、交通事業者が納得できない内容の届出は運輸局として受理できない。事業者との調整をしっかりとってから協議会に諮ってほしい。

(委員)

・賛同するということでよい。

(委員)

・今回の豊鉄バス(株)の発言については、来年以降の課題として、今年の実施状況を踏まえ検討するといった要望として考える。

(委員)

・一般的に割引運賃の設定は、減収にならないことが前提で実施するものである。例えばその年に減収になったとしても今後増収の見込みがあると考えているものも含む。減収の話が先に出てしまうと許認可する立場から先ほどの発言をすることになってしまうのでご理解いただきたい。

・議長から協議事項4について諮ったところ、全会一致で承認された。

3. 報告事項

(1)「地域生活」バス・タクシー運行事業(東部地区)の運行ダイヤの変更について

・事務局より、「地域生活」バス・タクシー運行事業(東部地区)の運行ダイヤの変更について、資料5に基づき説明が行われた。

・オブザーバーより、東山バス運営協議会の取組について資料5-1に基づき説明が行われた。

(オブザーバー)

- ・ 支援会員の募集については、平成27年6月12日現在で118名148口集まった。昨年度は100名132口だったので支援者が増加している。
- ・ 協議会の会合については、4月に総会を開催しその後は毎月1回定例会の開催を予定している。
- ・ 今年で7周年となるが、利用者が5万人を達成したことで7月1日～31日までの1ヶ月間に利用者に対し記念品を進呈するイベントを実施する予定である。記念品としては、東山の藍染クラブが作成したハンカチなどを渡す予定である。
- ・ やまびこ号は、通常の大人の運賃は200円で1区間であっても同様の金額を払っているが、1区間の運賃は高いと感じている。そのため、1区間の運賃を100円とすることで利用者がどれくらい増えるか確認をするため導入実験を行いたいと考える。
- ・ 運行ダイヤの変更については、平成26年9月に実施した利用実態調査を元に変更を行うものである。買い物時間を確保するために実施する。
- ・ 停留所機材の更新については、運行開始時に木製のバス停を置いていたが、腐食等の劣化が進んでいるため、金属製に更新するものである。
- ・ 停留所周辺の美化として草刈りを行った。また、以前は朝顔の種をまいたが非常に評判がよかったので、今年はひまわりの種をまいた。
- ・ 利用促進として、やまびこ通信を年に3回程度発行し各戸配布する予定である。また、これらを情報BOXの付いたバス停に入れいつでも見れるようにしていく。
- ・ 他地区のコミュニティバスとの連携として、まだ、調整は行っていないが利用促進の方法を話すなどして連携していきたいと考えている。

(質疑等)

- ・ なし

(2) 豊橋市地域公共交通活性化方策の進捗について

- ・ 事務局より、豊橋市地域公共交通活性化方策の進捗について、資料6に基づき説明が行われた。

(質疑等)

- ・ なし

(3) 豊橋市「地域生活」バス・タクシー実施要綱の改正について

- ・ 事務局より、豊橋市「地域生活」バス・タクシー実施要綱の改正について、資料7に基づ

き説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

・平成26年度第3回豊橋市地域公共交通活性化推進協議会において、委員より意見等をいただいていたが、内容についてはどうか。

(委員)

・基準として設定する内容について趣旨は理解している。利用者数の目標値を定義付けして実施していくということであるので良いと思う。ここから利用者が増えていけばよいと考える。

4. その他

(意見等)

(委員)

・エコモビ推進表彰候補団体募集について案内を行う。

(委員)

・協議事項(3)、(4)について、委員からの意見等があったので、その後の経過について各委員に再度報告する必要はないのか。

(事務局)

・許認可に係る運賃や期間については、今回の協議で承認していただいたと考えている。イベントの内容については、今後、関係する事業者と調整していく。

(委員)

・協議事項(3)、(4)については、実施結果から内容や成果を検証し事後報告を行う必要があると考える。

(事務局)

・今年度の実施状況や事業者の意見等からイベントの内容を検証したいと考える。また、次年度協議が必要であれば本協議会で諮らせていただく。

5. 閉会

・事務局長から閉会の挨拶があり、会議は終了した。
以上、議事の正確を証するため署名押印する。

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員

⑩

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員

⑩